

第 66 回道小教育研究渡島・北斗大会について 田邊 芳明 研修部副部長

まず、北海道小学校長会教育研究大会に対する基本的な考え方について説明させていただく。研修部資料 24 頁をご覧ください。

教育研究大会は「校長の職能向上」と「本道教育の振興」を目的とした道小研究・研修活動の中核を担うものである。その研究大会は、北海道小学校長会が主催し、開催地区は、5 ブロックがもちまわりとし、大会運営は主管する地区校長会が行う。

本資料の 5 番から 10 番には、副主題とその趣旨、大会主題・研究課題の趣旨等の作成と決定について、大会テーマの作成・決定について、分科会の研究発表・協議・運営についての手順が記載されている。また、大会参加期待数の割合など、基本的な考え方も記載されているので確認していただきたい。

これまで北海道小学校長会では、「分科会の充実こそが最大のおもてなし」を合言葉に、参画型・視覚型の分科会運営の工夫により討議の活性化を図ってきた。次年度、新型コロナウイルス感染症の影響がどこまで出るか予測は困難であるが、研修の充実を図るため、道小事務局と現地実行委員会が十分に連携をとりながら大会の準備を進めていきたい。

そこで分科会の充実に関わって、1 点お願い申し上げる。各分科会の研究発表の充実を図るためには、令和 5 年度 5 月に開催する「第 1 回分科会運営者研修会」から実質的な動きができるような体制が必要となる。そこで、各地区におかれては、研究発表者について、可能な限り早めに候補者を決めていただき、研究発表の準備に取り組むことができるよう、協力をお願い申し上げます。

続いて、渡島・北斗大会の概要等について、西田研究指名理事から説明をしていただく。